

語呂合わせを活用しましょう！！

1年電子工学科 原 賢(ハラケン)

1.はじめに

まず、この文章に目を通していただいていることに感謝します。タイトルに有る通りですが、ここでは誰もが知っている覚え方、語呂合わせについての筆者の考え、まとまっていない意見を吐き出したものを見ることができます。

2.なぜ書こうと思ったか

自分はよく語呂合わせにお世話になりますが、実際丸覚えする必要性があったとき、語呂を考えて作って活用しているという人が、周囲にほとんどいなかったので、知っているだけで留めるのにはあまりにも惜しいものなのだとこのことを言いたくなりました。ですので、今回のこのページの存在理由として、「こんな誰でも知っているような当たり前なことを書かれても…」と思いつつ、改めて認識しなおす機会にしてもらえれば何よりです。

3.丸覚えが有効なものとはそうでないもの

物事は系統付けて理屈から覚えていくことが望ましいです。一方、どうしても丸暗記しなければならないことだってあります、よく使うなどの理由で丸覚えした方が楽なものだってあります。系統付けて覚えられるものでしたら使う必要はありません。有効なもの例としては、いまさら言われても…という言葉が聞こえそうですが、高校化学でしたら、理論化学の一部を除いた部分について、広く活躍してくれます。英単語、古文単語を語呂で覚える本が出ていますが、ひとつの単語にひとつの文でも負担には感じず、使わずに覚える時にくわえて記憶法がひとつ多いというものなので、より覚えやすく感じましたし、実際身の回りでも覚えやすいと評判でした。

4.実践的な語呂の作り方、語呂作りのススメ

我流のものでは

- ① 覚えたいものが表だったり数式だったりした時は、その内容を表現する文章にする。
- ② その文章の大事な要素の頭文字を順番になぞっていけるような文章が考えつくまで、試行錯誤する。

作りにくいものや、この方が要素の指定の仕方がしっくりくるというものがあつたら、作りやすいように文章を変更したり…という具合に①と②を交互に繰り返すだけです。

ポイント

- ・ 頭文字に同じものでだぶる要素がある場合、2文字目以降を検討することが必要になることもあるが、要素を言い換えるなど、①の文章作りのときの工夫で大体の場合対処できる。
- ・ 基本、語呂の内容のタイトル(数式だったら左辺)から始まるようにする

作る利点

自分で作ろうとすると、そのときに何度も反復するので身につく度が格別です。なので、覚えると

きにただ反復するのではなく、語呂を作ろうと意識して反復すれば、ただ反復し暗記するのに加えて語呂が出来るのでせつかくだったら…と、やってみてもらえたら嬉しいです。更に、上手く作れたら、自己満足の感覚におぼれ、なかなか忘れられなくなるほどにがぼがぼと飲み込めます。語呂ですべてを補完できなくても、無いよりはマシだと思います。ややこしい文だとしても、ももとの表や、数式に比べれば圧倒的に量が変わりますので文章のほうがりつ張り出して来易いです。

以上より、どうせ反復するのなら…と、ついでに思い出し方の紐を埋め込んでおくという感覚で、是非やってみて欲しいです。

5.作成例

では、一応参考のために例として、自分が作ったあまり上手でない語呂を紹介します。恥ずかしいのであまり気は進みませんが、自身のない皆さんでもこの程度なら作れ、そうでなければもつともつといいものが作れるはずですので、参考にしてください。

高校時代に作った化学の「定性分析」関連の語呂

加える陰イオン	沈殿する金属イオン
Cl^-	Ag^+, Pb^{2+}
<u>円</u> (Cl^-)は <u>現</u> (Ag^+) <u>ナマ</u> (Pb^{2+})で	
SO_4^{2-}	$Ba^{3+}, Ca^{2+}, Pb^{2+}$
<u>馬</u> (Ba^{2+}) <u>鹿</u> (Ca^{2+}) <u>な</u> (Pb^{2+}) <u>龍さん</u> (SO_4^{2-})	
CO_3^{2-}	Ba^{3+}, Ca^{2+}
<u>バ</u> (Ba^{3+}) <u>カ</u> (Ca^{2+}) <u>強い炭酸</u> (CO_3^{2-})	
OH^-	$Ag^+, Cu^{2+}, Al^{3+}, Zn^{2+}, Pb^{2+}, Fe^{2+}, Fe^{3+}$
<u>水産</u> (OH^-)で、 <u>ギ</u> (Ag^+) <u>ド</u> (Cu^{2+}) <u>ギド両生</u> (両性金属 = $Al^{3+}, Zn^{2+}, Pb^{2+}$) <u>巻き込まれてっ</u> (Fe^{2+}) <u>て</u> (Fe^{3+})と逃げる	
S^{2-} (いつでも沈殿)	$Ag^+, Cu^{2+}, Hg^{2+}, Pb^{2+}, Cd^{2+}$
<u>議</u> (Ag^+) <u>事堂</u> (Cu^{2+}) <u>突入 HG</u> (Hg^{2+})、 <u>生</u> (Pb^{2+}) <u>の下</u> (Cd^{2+}) <u>りも</u> <u>OK さー</u> (酸でも OK)	
S^{2-} (酸性以外で沈殿)	$Mn^{2+}, Zn^{2+}, Fe^{2+}, Ni^{2+}$
<u>三</u> ($万$)は <u>だめ</u> (酸では NG)、 <u>あえ</u> (Zn^{2+}) <u>て</u> (Fe^{2+}) <u>二</u> (Ni^{2+}) <u>万</u> (Mn^{2+})	

これはイオン化列のここから(ここまで)というのを覚えるというものでしたので、そのイオン化列の範囲を覚えるための手助けとして使える程度のものですが、とてもお世話になりました。

また、今回この記事を作るにあたって新しく作ってみました。テーマは純粋に系統がない、丸暗記が必要なもので、かつ個人的に因縁のある(深読み厳禁)微分積分の公式で作ってみました。

(大学で新出の)微分公式

$$\bullet \frac{d}{d\theta} \sin^{-1}\theta = \frac{1}{\sqrt{1-\theta^2}}$$

← $\sin^{-1}\theta$ 微分 = “ $1-\theta^2$ を丸ごと $\sqrt{\quad}$ で包んだもの” 分の1

← 新(\sin) 米(-1) シータ(θ) がビ(微)ピツと今(1-)した事情(θ^2)は(=)
丸ごとルーと($\sqrt{\quad}$)飛ぶんだい(分の1)

マイナスは頭文字の「マ」に集約しています。

これだとシータ達がバルス！と唱えたことによって、はるか宇宙へとラピユタが飛んでいくのですが、今その呪文を言わねばならない事情が出来、その事情がラピユタと一緒にルーさんをトウギャザーさせなければならないという文になっています。(ムスカのポジションにルーさん？)

$$\frac{d}{dx} \tan^{-1}x = \frac{1}{1+x^2}$$

← $\tan^{-1}x (= \frac{1}{\tan x})$ の微 = $1+x^2 (=x \cdot x)$ が下(分母)にある

← 短文の $1(\frac{1}{\tan x})$ 文字(x)の美(微)は(=)言(1)いたし(+)文字文字(x·x)が(その1文字の)下に

(分母)込められている。

これは、五七五の計 17 文字でも、意味を考えたり、解説を書いたりするとやけに長くなる俳句などの短文を思い浮かべて覚えて欲しいです。

6. あとがき

自分で記事をひとつ書くことは初めてで、題材といい、文章といいどうすればいいのかわからずに書いたものなので、苦戦しました。こんな文章のこの部分まで読んでくださっている皆さんには、感謝の言葉と謝罪の言葉をセットで心からお送りします。なんてことを言いながらも、読んでくださっている人がいなかったときのために「自分が微積の公式を確実にしただけでも、この文章の存在意義はあるはず」なんて心の保険をかけることにも余念はありません。最後は自分の文でなく、心の保険をかけつつも、こんな文章を読んでくださった人に感謝する気持ちを示す、偉人の言葉で締めたいと思います。

『孤独とはいいものだという事を我々は認めざるを得ない。けれどもまた、孤独はいいものだと話し合う事の出来る相手を持つことは一つの喜びである。』 By バルザック

ご静読ありがとうございました。